



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月13日

上場会社名 株式会社 横河ブリッジ
(URL <http://www.yokogawa-bridge.co.jp/>)

(コード番号：5911 東証第1部)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 佐々木 恒 容
問合せ先責任者 役職名 業務本部経理部長 氏名 宮 本 正 信

TEL (03) 3453 - 4116

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等、一部簡便的な方法を採用しております。
②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	40,604	△1.8	△5,408	—	△5,039	—	△2,122	—
18年3月期第3四半期	41,355	△29.6	9	△99.7	1,504	△53.8	△1,034	—
(参考)18年3月期	62,538		△1,462		100		△4,135	

	一株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後一株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	△51.90		—	
18年3月期第3四半期	△25.28		—	
(参考)18年3月期	△101.10		—	

(注)パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループの主要な事業であります鋼構造物のうち橋梁事業について、当社は独占禁止法違反事件で平成18年11月に東京高等裁判所において有罪判決を受け、その後確定しました。これに伴い、国土交通省から本年1月30日から3月15日までの45日間の営業停止命令を受けました。このような状況下、当第3四半期までの鋼橋総発注量は前年同期を上回り、受注単価も、当上半期は熾烈な受注競争の影響から大幅に下落しましたが、当第3四半期に入り、若干上向く気配を見せ出しました。一方、建築環境事業につきましては、好調な民間設備投資に支えられて需要は堅調に推移しました。

このような状況の中で、当社においては、上半期に続き当第3四半期も地方自治体を中心に新設橋梁工事の受注に注力しましたので、当年度の受注目標を上回ることができました。さらに、子会社各社も各事業分野において精力的に営業活動を展開し、着実に受注を増やしました。

決算面では、第3四半期に入り生産は予定通り順調に推移したものの、当社における上半期の工場稼働率の大幅な落ち込みの影響から、売上高は低水準だった前年同期を下回る406億円に止まりました。損益につきましても、固定費の削減に努力しましたが、多額の工事損失引当金を補うには至らず、営業損失は54億円、経常損失は50億3千万円となりました。また、特別利益に不動産流動化に伴う固定資産売却益および投資有価証券売却益などを37億7千万円計上しましたものの、特別損失に独占禁止法違反による罰金などを21億8千万円計上しましたため、四半期純損失は21億2千万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	一株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	93,209	52,530	50.5	1,150.47
18年3月期第3四半期	100,168	54,099	54.0	1,322.87
(参考)18年3月期	94,511	51,774	54.8	1,266.24

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△ 2,892	3,455	△ 318	13,160
18年3月期第3四半期	△ 1,066	△ 780	△ 384	12,751
(参考)18年3月期	△ 927	△ 547	△ 603	12,896

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較し13億円減少しました。資産の部は、手持工事の増加と生産の進捗に伴い未成工事支出金及び仕掛品が55億9千万円増加しましたが、不動産の流動化に伴い有形固定資産が18億6千万円減少したほか、保有有価証券の売却などにより、投資その他の資産が47億9千万円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度末と比較し38億4千万円増加しました。工事代金の入金が順調に進みましたが、未成工事受入金が45億2千万円増加したほか、橋梁事業の熾烈な受注競争を反映して工事損失引当金が29億4千万円増加しました。

純資産の部は、525億3千万円となりました。この結果、自己資本比率は50.5%となりました。

②キャッシュ・フロー

当第3四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて2億6千万円増加し、131億6千万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は28億9千万円となりました。これは、税金等調整前四半期純損失の計上に加え、課徴金の支払いなどによるものです。

なお、当社グループでは、公共事業への依存度が高いため、期末前後に工事代金の回収が集中し、キャッシュ・フローが増加しますが、第2・第3四半期には工事関連費用の支払いが先行し、キャッシュ・フローは減少する傾向があります。

投資活動の結果獲得した資金は34億5千万円となりました。これは、主に流動化による有形固定資産の売却および投資有価証券の売却によるものです。

財務活動の結果使用した資金は3億1千万円となりました。これは、主に配当金の支払いによるものです。

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	65,000	△ 4,500	△ 850

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) △ 20円 79銭

[業績予想に関する定性的情報等]

上記予想値は、平成18年11月20日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増 減 (△印は減)		前第3四半期 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金預金	6,957		9,609		△ 2,652		6,458	
受取手形及び 完成工事未入金等	18,703		20,735		△ 2,032		20,488	
有価証券	8,085		3,383		4,702		6,997	
未成工事支出金及び仕掛品	16,144		10,547		5,596		18,314	
その他	5,336		5,336		0		3,760	
貸倒引当金	△ 26		△ 23		△ 3		△ 46	
流動資産合計	55,199	59.2	49,588	52.5	5,610	11.3	55,972	55.9
II 固定資産								
有形固定資産	20,034		21,902		△ 1,867		21,885	
無形固定資産	699		954		△ 254		1,142	
投資その他の資産	17,275		22,065		△ 4,790		21,168	
固定資産合計	38,009	40.8	44,922	47.5	△ 6,912	△ 15.4	44,196	44.1
資産合計	93,209	100.0	94,511	100.0	△ 1,302	△ 1.4	100,168	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び工事未払金等	13,244		13,189		54		13,237	
未成工事受入金	9,740		5,216		4,523		11,269	
賞与引当金	496		959		△ 462		495	
工事損失引当金	4,033		1,091		2,941		177	
損害補償損失引当金	1,964		1,587		377		—	
その他	1,825		3,292		△ 1,466		3,002	
流動負債合計	31,305	33.6	25,337	26.8	5,967	23.6	28,181	28.1
II 固定負債								
退職給付引当金	6,796		6,789		7		7,247	
役員退職慰労引当金	769		1,228		△ 459		1,208	
その他	1,807		3,475		△ 1,668		3,320	
固定負債合計	9,373	10.0	11,493	12.2	△ 2,119	△ 18.4	11,777	11.8
負債合計	40,679	43.6	36,830	39.0	3,848	10.4	39,959	39.9
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	5,905	6.2	△ 5,905	—	6,110	6.1
(資本の部)								
I 資 本								
資 本 金	—	—	9,435	10.0	△ 9,435	—	9,435	9.4
II 資 本 剰 余 金	—	—	9,033	9.6	△ 9,033	—	9,033	9.0
III 利 益 剰 余 金	—	—	29,820	31.6	△ 29,820	—	32,921	32.9
IV 土 地 再 評 価 差 額 金	—	—	△ 1,373	△ 1.5	1,373	—	△ 1,373	△ 1.4
V その他有価証券評価差額金	—	—	6,933	7.3	△ 6,933	—	6,149	6.2
VI 自 己 株 式	—	—	△ 2,073	△ 2.2	2,073	—	△ 2,066	△ 2.1
資本合計	—	—	51,774	54.8	△ 51,774	—	54,099	54.0
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	94,511	100.0	△ 94,511	—	100,168	100.0
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資 本 金	9,435	10.1	—	—	9,435	—	—	—
資 本 剰 余 金	9,033	9.7	—	—	9,033	—	—	—
利 益 剰 余 金	27,428	29.4	—	—	27,428	—	—	—
自 己 株 式	△ 2,081	△ 2.2	—	—	△ 2,081	—	—	—
株主資本合計	43,815	47.0	—	—	43,815	—	—	—
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金	4,590	5.0	—	—	4,590	—	—	—
土地再評価差額金	△ 1,380	△ 1.5	—	—	△ 1,380	—	—	—
評価・換算差額等合計	3,209	3.5	—	—	3,209	—	—	—
III 少 数 株 主 持 分	5,504	5.9	—	—	5,504	—	—	—
純資産合計	52,530	56.4	—	—	52,530	—	—	—
負債、純資産合計	93,209	100.0	—	—	93,209	—	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	当第3四半期 〔平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで〕		前第3四半期 〔平成17年4月1日から 平成17年12月31日まで〕		増 減 (△印は減)		前連結会計年度 〔平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで〕	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
I 売 上 高	40,604	100.0	41,355	100.0	△ 751	△ 1.8	62,538	100.0
II 売 上 原 価	41,320	101.8	36,500	88.3	4,820	13.2	57,508	92.0
売上総利益又は 売上総損失(△)	△ 715	△ 1.8	4,855	11.7	△ 5,571	—	5,029	8.0
III 販売費及び一般管理費	4,692	11.5	4,846	11.7	△ 153	△ 3.2	6,492	10.3
営業利益又は 営業損失(△)	△ 5,408	△ 13.3	9	0.0	△ 5,417	—	△ 1,462	△ 2.3
IV 営業外収益	493	1.2	1,629	3.9	△ 1,136	△ 69.7	1,744	2.8
有価証券売却益	—		1,249		△ 1,249		1,248	
その他の	493		380		113		496	
V 営業外費用	124	0.3	134	0.3	△ 9	△ 7.3	180	0.3
経常利益又は経常損失(△)	△ 5,039	△ 12.4	1,504	3.6	△ 6,544	—	100	0.2
VI 特別利益	3,771	9.3	45	0.1	3,725	—	90	0.1
固定資産売却益	1,597		0		1,597		1	
投資有価証券売却益	2,030		—		2,030		—	
その他の	142		45		97		89	
VII 特別損失	2,186	5.4	2,068	5.0	117	5.7	4,404	7.0
異常操業度損失	1,236		998		237		1,579	
損害補償損失引当金繰入損	641		—		641		1,587	
課 徴 金	—		902		△ 902		903	
その他の	308		167		140		334	
税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△ 3,454	△ 8.5	△ 518	△ 1.3	△ 2,936	—	△ 4,213	△ 6.7
税金費用	△ 963	△ 2.4	921	2.2	△ 1,884	—	535	0.9
少数株主損失(△)	△ 368	△ 0.9	△ 405	△ 1.0	36	—	△ 612	△ 1.0
四半期(当期)純損失(△)	△ 2,122	△ 5.2	△ 1,034	△ 2.5	△ 1,087	—	△ 4,135	△ 6.6

3. 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	9,435	9,033	29,820	△ 2,073	46,215
第3四半期会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 275		△ 275
四半期純利益			△ 2,122		△ 2,122
自己株式の取得				△ 8	△ 8
自己株式の処分		0		0	0
土地再評価差額金の取崩			6		6
株主資本以外の項目の 第3四半期会計期間中の 変動額(純額)					
第3四半期会計期間中の変動額合計	—	0	△ 2,391	△ 8	△ 2,399
平成18年12月31日残高	9,435	9,033	27,428	△ 2,081	43,815

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	6,933	△ 1,373	5,559	5,905	57,680
第3四半期会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△ 275
四半期純利益					△ 2,122
自己株式の取得					△ 8
自己株式の処分					0
土地再評価差額金の取崩					6
株主資本以外の項目の 第3四半期会計期間中の 変動額(純額)	△ 2,342	△ 6	△ 2,349	△ 401	△ 2,750
第3四半期会計期間中の変動額合計	△ 2,342	△ 6	△ 2,349	△ 401	△ 5,150
平成18年12月31日残高	4,590	△ 1,380	3,209	5,504	52,530

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当第 3 四半期 (平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで)		前第 3 四半期 (平成17年4月1日から 平成17年12月31日まで)		増 減 金 額	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)		
	金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)		金 額 (△は資金の減少)	金 額 (△は資金の減少)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー								
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△	3,454	△	518	△	2,936	△	4,213
減価償却費		1,234		1,338	△	103		1,784
退職給付引当金の増減額		7	△	24		31	△	482
工事損失引当金の増加額		2,941		177		2,764		1,091
損害補償損失引当金の増加額		377		—		377		1,587
その他の引当金の減少額	△	937	△	923	△	14	△	439
受取利息及び受取配当金	△	206	△	169	△	36	△	200
有価証券売却損益	△	2,025	△	1,249	△	775	△	1,248
固定資産売却損益	△	1,597	△	0	△	1,598	△	1
その他の収益及び費用の非資金分等(純額)	△	11	△	43		31		85
受取手形及び完成工事未収入金等の減少額		2,032		7,970	△	5,937		7,722
未成工事支出金及び仕掛品の増減額	△	5,580	△	6,128		548		1,655
支払手形及び工事未払金等の増減額		54	△	1,430		1,485	△	1,478
未成工事受入金等の増減額		4,523		2,428		2,094	△	3,624
預り金の増減額		51	△	1,157		1,208	△	855
その他の資産及び負債の増減額		515		144		371	△	861
小 計	△	2,074		413	△	2,488		522
利息及び配当金受取額		207		160		46		197
利息の支払額		—	△	0		0	△	25
課徴金の支払額	△	854		—	△	854		—
法人税等の支払額	△	170	△	1,640		1,469	△	1,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	2,892	△	1,066	△	1,826	△	927
II 投資活動によるキャッシュ・フロー								
有価証券の取得による支出	△	2,256	△	3,082		825	△	3,330
有価証券の売却による収入		3,290		2,871		419		3,772
有形固定資産の取得による支出	△	1,031	△	557	△	473	△	898
有形固定資産の売却による収入		3,603		0		3,602		2
無形固定資産の取得による支出	△	154	△	290		136	△	369
その他の投資活動による支出	△	40	△	21	△	18	△	54
その他の投資活動による収入		44		300	△	256		330
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,455	△	780		4,235	△	547
III 財務活動によるキャッシュ・フロー								
再生債権等の弁済による支出		—		—		—	△	213
配当金の支払額	△	310	△	372		61	△	370
その他(純額)	△	7	△	12		4	△	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	318	△	384		66	△	603
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		19	△	3		22	△	12
V 現金及び現金同等物の増減額		263	△	2,235		2,498	△	2,090
VI 現金及び現金同等物の期首残高		12,896		14,986	△	2,090		14,986
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		13,160		12,751		408		12,896

5. (参考) 製品別売上高、受注高及び受注残高 (単位: 百万円、単位未満切り捨て)

区分 製品別		期 別	当第3四半期 〔平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで〕	前第3四半期 〔平成17年4月1日から 平成17年12月31日まで〕	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 〔平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで〕
			金 額	金 額	金 額	金 額
売 上 高	橋 梁		19,890	24,811	△4,920	38,372
	建築環境他		19,145	15,091	4,054	22,023
	鋼構造物計		39,036	39,902	△866	60,396
	情報処理		883	782	101	1,247
	不 動 産		684	670	13	894
	合 計		40,604	41,355	△751	62,538
受 注 高	橋 梁		35,304	19,441	15,862	30,641
	建築環境他		22,511	18,755	3,755	25,123
	鋼構造物計		57,815	38,197	19,617	55,764
	情報処理		861	843	18	1,110
合 計		58,677	39,041	19,635	56,875	
受 注 残 高	橋 梁		53,584	40,532	13,052	38,171
	建築環境他		16,837	14,035	2,802	13,472
	鋼構造物計		70,422	54,568	15,854	51,643
	情報処理		500	720	△220	522
合 計		70,923	55,289	15,634	52,166	